

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援センター つくも幼児教室		
○保護者評価実施期間	2024年 11月 15日		2024年 11月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	50	(回答者数) 31
○従業者評価実施期間	2024年 11月 21日		2024年 12月 5日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	14	(回答者数) 10
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 1月 27日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童発達支援センターとして、児童発達支援、保育所等訪問支援、相談支援が連携して、地域の子どもたち、保護者への支援を行っていること	事業間で情報共有を行い、様々な角度や視点での支援を行っている。 センターとして研修などを行い、職員の全体的なスキルアップを図っている。	支援にあたる職員や他の職種とも情報を共有し、様々な意見を交換できるようにする 様々な研修を全体で企画し、職員の更なる支援技術の向上に努めていく
2	長生都市の乳幼児健診事業等に多数参加し、必要な方が児童発達支援を利用することがスムーズにできるようにしている	市町村の保健師や福祉行政担当者と密に連携し、お子さんや保護者へ必要な時に支援できるようにしている	今までと同様に市町村事業に参加しながら、児童発達支援センターとしての役割を果たしていく 国が推奨している5歳児健診にも積極的に参加していく
3	延長保育を実施し、保護者や祖父母などのご家族に対する支援を行っている	就労、兄弟の行事、家族のリフレッシュなど理由を問わずに必要な延長保育を行っている	すべての日数を延長保育実施できるわけではないが、可能な限りの日数について延長保育実施を継続していく

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	建物が古く、段差などが多くあること	元々入所施設の就学猶予児のための施設内学級として作られたため、改善できていない箇所がある	毎年少しずつではあるが、必要な個所の改善改修工事を実施している。来年度もさらなる改修工事を計画している。
2	毎年明けには次年度の予定人数が埋まってしまう、事業所利用希望の方をすぐにお受けすることができていないことが多い	地域に児童発達支援事業所は増えたが、一日開所事業所はまだ少ないため	予定人数充足後の利用希望者に対しては、曜日を区切った利用を提案したり、他事業所を利用しながら空きが出るのを待っていただいたりしている
3			